DSプロファイル

ActiveServerは単一のインスタンスで国際ブランドの**Production Directory Server**と**GPayments TestLabs**両方に接続できる**DSプロファイル**をサポートしています。

- **Production Directory Servers：**Directory Serversページで設定された国際ブランド（American Express, Discover, JCB, Mastercard, UnionPay(銀聯) and Visa）ディレクトリサーバー。
- **TestLabs：GPayments TestLabs**は、**Directory Server**と**Access Control Server**で構成されます。クライアントが**ActiveServer**インスタンスで機能テストを実行するためのさまざまなカード会員シナリオが設定されています。 **ActiveServer**でサポートされているすべての国際ブランドは、**TestLabs**でサポートされています。

TestLabsセットアップ

TestLabsへの継続的なアクセスが必要な場合は、TestLabs DS通信用に追加のポートを開く必要があります。これにより、実稼働国際ブランドのDirectory Serverを使用するのと並行してTestLabsでテストできます。追加のポートは、GPayments TestLabs Directory Serverから外部からアクセスできる必要があります。設定は `application-prod.properties` に追加する必要があり、以下にプロパティの例を示します：

Copyright ©2026 GPayments Pty Ltd. All rights reserved.

```
##------------------------------------------------------------------
## GPayments TestLabs DS ports
##
## GPayments TestLabs directory serversのDSポート
##------------------------------------------------------------------

## Visa TestLabs
as.testlab.visa.port=9800
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります
# as.testlab.visa.enabled=false

## Mastercard TestLabs
as.testlab.mastercard.port=9801
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります
# as.testlab.jcb.enabled=false

## American Express TestLabs
as.testlab.amex.port=9802
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります
# as.testlab.amex.enabled=false

## Discover TestLabs
as.testlab.discover.port=9803
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります
# as.testlab.discover.enabled=false

## JCB TestLabs
as.testlab.jcb.port=9804
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります
# as.testlab.jcb.enabled=false
```

`application-prod.properties` の設定の詳細については、クイックスタートガイドを参照してください。

Trans-typeパラメーター

DSプロファイルを使用するには、Production Directory ServerとTestLabsを切り替えるための認証URLに **`trans-type`** クエリパラメータが必要です。デフォルトでは、テスト目的で、すべての認証リクエストはGPayments TestLabsディレクトリサーバーに送信されます。本番環境に移行するときに、APIリクエストを国際ブランドのディレクトリサーバーに送信するには、`trans-type=prod` クエリパラメータをAPI URLに追加する必要があります。

Copyright ©2026 GPayments Pty Ltd. All rights reserved.

なぜ `trans-type=prod` クエリパラメータが必要なのか？

API URLにパラメーター「trans-type」を追加することで、テストが完了するまではGPayments TestLabsを使用し、認証要求が誤って国際ブランドディレクトリサーバーに送信されないようにします。

認証リクエストを本番ディレクトリサーバーに送信する場合は、以下のエンドポイントに `trans-type=prod` パラメータを追加する必要があります。

- **BRW**トランザクションの場合、 `InitAuth` プロセス
- **App**および**3RI**トランザクションの `Auth` プロセス
- **Enrol**エンドポイント。

たとえば、 `InitAuth` は本番ディレクトリサーバーの場合、次のURL `https//api.testlab.3dsecure.cloud/api/v2/auth/brw/init?trans-type=prod` で呼び出されます。

上記のとおり、このパラメーターが指定されていない場合、認証リクエストはGPayments TestLabsに送信されます。APIの仕様の詳細については、APIドキュメントを確認してください。

`trans-type` パラメータが期待どおりに機能しないのはなぜですか？

サーバー側の設定 `as.auth.allowed-trans-type` がAPIパラメータを上書きするように設定されていないことを確認してください。詳細はクイックスタートガイドでご確認ください。

Copyright ©2026 GPayments Pty Ltd. All rights reserved.